

実務経歴証明書記入例 (②：工事監理に関する場合)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。  
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

## 実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関  
一般社団法人石川県建築士会会長 様

株式会社〇〇建築設計事務所

証明者 **登録 太郎**

〇〇県知事登録 第〇〇号  
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(担当 (株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎)  
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する建築士  
事務所の管理建築士**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

### 記

1. 免許申請者氏名 **建築 太郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・専用住宅(木造2階建て、延べ面積 140 m<sup>2</sup>)の新築工事の工事監理補助を担当。
- ・専用住宅(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積 200 m<sup>2</sup>)の新築工事の工事監理補助を担当。
- ・共同住宅(鉄筋コンクリート造 10 階建て、延べ面積 1,500 m<sup>2</sup>)の新築工事の工事監理補助を担当。

### 備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。